

暗記カード 8 月 26 日版

問題 No.	質問	回答
問 64	少量でも眠くなるプロモバレルル尿素が使用できない対象者とその理由は？	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊婦又は妊娠していると思われる女性 ● 胎児に障害を引き起こす可能性があるため、
問 64	鎮静作用のある主要な 5 つの生薬成分とは何か？ その使用時の避けることは何か？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①チョウトウコウ、②サンソウニン、③カノコソウ、④チャボトケイソウ、⑤ホップ ● (1)複数の鎮静薬の併用と、(2)長期連用は避けるべき
問 64	鎮静作用のある主要な漢方製剤 6 つとは？ また、その特徴は？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①酸棗仁湯(さんそうにんとう) ● ②加味帰脾湯(かみきひとう) ● ③抑肝散(よくかんさん) ● ④抑肝散加陳皮半夏(よくかんさんかちんぴはんげ) ● ⑤柴胡加竜骨牡蛎湯(さいこかりゅうこくほれいとう) ● ⑥桂枝加竜骨牡蛎湯(けいしかりゅうこくほれいとう) ● これらの漢方処方製剤は、症状の原因となる体質の改善を主眼としているため、いずれの処方も比較的長期間(1ヶ月位)服用されることが多い。
問 64	加味帰脾湯(かみきひとう)の適用とは何か？	● 体力中等度以下で、心身が疲れ、血色が悪く、ときに熱感を伴うものの貧血、不眠症、精神不安、神経症に適すとされる。

問題 No.	質問	回答
問 65	眠気防止薬の目的は？ 主な 2 つの薬は何か？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①目的——眠気防止薬は、眠気や倦怠感を除去することを目的とした医薬品 ● ②薬——主な有効成分は、無水カフェイン、安息香酸ナトリウムカフェイン
問 65	カフェインの主な 2 つの作用は？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①脳に軽い興奮状態を引き起こし、一時的に眠気や倦怠感を抑える効果がある。 ● ②腎臓でのナトリウムイオン(同時に水分)の再吸収を抑制するため、尿量の増加(利尿)をもたらす。
問 65	カフェインの服用で注意する 3 つは？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①胃液分泌亢進作用により、副作用として食欲不振、悪心・嘔吐といった胃腸障害が現れることがあるので、胃酸過多の人や胃潰瘍のある人は、服用を避ける。 ● ②心筋興奮作用により、副作用として動悸が現れることがあるので、心臓病のある人は、服用を避ける。 ● ③作用は弱い依存作用があるので、「短期間の服用にとどめ、連用しないこと」という注意喚起が必要。
問 65	カフェインの妊婦又は授乳婦に対する注意は？	● カフェインは胎児の発達に影響があるし、乳汁に移行するので、カフェインの総摂取量が多くならないように注意する。
問 65	カフェインの適切な摂取量は？	● カフェインの1回摂取量はカフェインとして200mg、1日摂取量はカフェインとして500mg が上限

問 65	試験勉強中の眠気防止薬の服用は？	<ul style="list-style-type: none"> ● 成長期の小児の発育には睡眠が重要であることから、小児用の眠気防止薬はない。 ● 眠気防止薬が小・中学生の試験勉強に効果があると誤解されて誤用事故を起こした事例も知られており、15歳未満の小児に使用されることがないように注意が必要
問 65	眠気による倦怠感を和らげるビタミンは？	<ul style="list-style-type: none"> ● ビタミンB1、B2、B6、B12で、ビタミンB群である。

問題 No.	質問	回答
問 66～67	乗り物酔い防止薬の 4 つの分類と共通点して留意する点は何か？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①抗めまい成分、②抗ヒスタミン成分、③抗コリン成分、④鎮静成分 ● 共通点いずれも眠気を促す作用がある ● 「つわり」による吐き気は、原因が違うので使用しない
問 66～67	抗コリン成分で注意する点は？	<ul style="list-style-type: none"> ● 眠気を促すほかに、散瞳による目のかすみや異常なまぶしさを引き起こすことので、運転操作の場合は控える
問 66～67	抗めまい成分のジフェニドール塩酸塩の①主な 2 つの作用、②副作用、③使用時の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● ①内耳の(1)神経調節作用、(2)血流改善作用 ● ②頭痛、排尿困難、眠気、散瞳による異常な眩(まぶ)しさ、口渇、浮動感や不安定感が現れる ● ③排尿困難の症状がある人、緑内障の診断を受けた人は医療関係者に相談
問 66～67	抗ヒスタミン剤は、①体のどこに作用して、②どのような効果を発揮するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①延髄にある嘔吐中枢の刺激の抑制作用と、内耳の自律神経反射の抑制作用 ● ②吐き気を抑え、めまいを抑える
問 66～67	主な抗ヒスタミン剤の 5 つとは？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①ジメンヒドリナート、②ジフェンヒドラミンサリチル酸塩、③メクリジン塩酸塩、④プロメタジン、⑤クロルフェニラミンマレイン酸塩
問 66～67	抗ヒスタミン剤の中での注意する点は何か？	<ul style="list-style-type: none"> ● プロメタジンは、致命的な呼吸抑制の報告があり、15 歳未満の小児には禁止 ● メクリジン塩酸塩は、作用の発現が遅く、持続時間が長い
問 66～67	抗コリン剤は、①どのような作用で、②どのような効果を発揮するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①副交感神経の伝達物質であるアセチルコリンと受容体の反応を妨げることで、副交感神経の興奮を抑制する作用がある ● ②副交感神経が興奮して生じる胃痛、腹痛、さしこみ(疝痛(せんつう)、癩(しゃく))を鎮める鎮痛鎮痙作用や、胃酸過多による胸やけなどの症状を改善する
問 66～67	副交感神経を抑制する抗コリン剤の副作用は？	<ul style="list-style-type: none"> ● 散瞳による目のかすみや異常な眩(まぶ)しさ、顔のほてり、頭痛、眠気、口渇、便秘、排尿困難等の副作用が現れることがある ● 事故を防ぐために、運転操作など避ける必要がある。
問 66～67	抗コリン剤の使用に際して、どのような人が医師等に相談するといわれている 3 つの場合とは？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①排尿困難の症状がある人 ● ②心臓病の人 ● ③緑内障の診断を受けた人

問 66～67	高齢者に抗コリン剤を投与する場合に、留意することは何か？	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者では、排尿困難や緑内障の基礎疾患を持つ場合が多く、また、一般的に口渇や便秘の副作用が現れやすい ● 使用する前にその適否を十分考慮し、使用する場合にはそれらの初期症状等に常に留意する等、慎重な使用がなされることが重要である。
問 66～67	胃腸鎮痛鎮痙薬に配合される抗コリン成分には何があるか？	<ul style="list-style-type: none"> ● メチルペナクチジウム臭化物、ブチルスコポラミン臭化物、メチルオクタロピン臭化物、ジサイクロミン塩酸塩、オキシフェンサイクリミン塩酸塩、チキジウム臭化物等 ● 「○○○臭化物が多い」
問 66～67	抗コリン作用を持つ生薬は、①何か？ ②母乳への影響は？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①抗コリン作用を示すアルカロイドを豊富に含むロートエキス ● ②母乳中に移行して乳児の脈が速くなる(頻脈)おそれがあることと、母乳が出にくくなるために、母乳を与える女性では使用を避けるか、又は使用期間中の授乳を避ける必要
問 66～67	中枢神経を興奮させてめまいを軽減するとは？	<ul style="list-style-type: none"> ● 脳に軽い興奮を起こさせて平衡感覚の混乱によるめまいを軽減させることを目的として、カフェイン(無水カフェイン、クエン酸カフェイン等を含む。)やジプロピリンなどのキサンチン系と呼ばれる成分が配合されている
問 66～67	抗ヒスタミン剤、抗コリン剤による眠気に対するカフェインの効果はどうか？	<ul style="list-style-type: none"> ● カフェインが配合されているからといって、抗めまい成分、抗ヒスタミン成分、抗コリン成分又は鎮静成分の作用による眠気が解消されるわけではない
問 66～67	乗り物酔い防止薬の①局所麻酔剤は何か？ ②なぜ防止できるのか？ ③使用時の留意点は？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①アミノ安息香酸エチル ● ②胃粘膜の麻酔作用により嘔吐刺激を和らげる ● ③アミノ安息香酸エチルが配合されている場合は、6 歳未満の使用は避けること
問 66～67	吐き気防止のために補助的に使用する主な 3 つの成分とは？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①ピロキシシン塩酸塩 ● ②ニコチン酸アミド ● ③リボフラビン等のビタミン成分
問 66～67	3 歳未満の乳幼児に乗り物酔い防止薬を使用しない理由とは？	<ul style="list-style-type: none"> ● 3歳未満では自律神経系が未発達であるため、乗り物酔いが起こることはほとんどないとされているから
問 66～67	乗り物酔い防止薬と相互作用の面から気を付ける 6 つの薬剤分類は？ その理由は？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①かぜ薬、②解熱鎮痛薬、③催眠鎮静薬、④鎮咳去痰薬、⑤胃腸鎮痛鎮痙薬、⑥アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む) ● 抗ヒスタミン成分、抗コリン成分、鎮静成分、カフェイン類等の配合成分が重複して、鎮静作用や副作用が強く現れるおそれがあるから。 ● 相互作用防止の観点から、購入者に対してこれだけのチェックをすることは重要であり、それなりの経験と仕組みが必要となる。
問 66～67	一時的なめまいでない場合の適切な対応方法とは？	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常においてめまいが度々生じる場合には、基本的に医療機関を受診するなどの対応が必要である。 ● その場合、動悸や立ちくらみ、低血圧などによるふらつきは、平衡機能の障害によるめまいとは区別される必要がある。高齢者は、平衡機能の衰えによってめまいを起こしやすく、聴覚障害(難聴、耳鳴り等)に伴って現れることも多い

問題 No.	質問	回答
問 103	胃・十二指腸と診断された人が「相談すること」とされる薬剤は何か？その理由は？	<ul style="list-style-type: none"> ● 解熱鎮痛剤——胃酸分泌調節作用や胃腸粘膜保護作用をもつプロスタグランジンが、解熱鎮痛剤により抑制されるために、胃・十二指腸潰瘍を悪化させるおそれがある ● 次硝酸ビスマス等のビスマスを含む薬剤——ビスマスの吸収が高まり、ビスマスによる精神神経障害等が発現するおそれがあるため。
問 103	下痢を止める止瀉(ししゃ)薬の収斂(しゅうれん)作用とは？ 代表的な薬剤は？	<ul style="list-style-type: none"> ● 腸粘膜のタンパク質と結合して不溶性の膜を形成し、腸粘膜をひきしめる収斂(しゅうれん)作用により、腸粘膜を保護して下痢を止める ● 代表的な薬剤——次没食子酸ビスマス、次硝酸ビスマス等のビスマス剤、タンニン酸アルブミン

問題 No.	質問	回答
問 104	添付文書等の適正使用情報とは①何か？ ②その目的は？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①適正使用情報とは、医薬関係者から提供された情報に基づき、一般の生活者が購入し、自己の判断で使用するものであるため、添付文書や製品表示に記載されているもの ● ②適正使用情報の目的は、医薬品の適切な選択、適正な使用を図ること
問 104	販売時に登録販売者が適正使用情報に関しての3つの留意点は？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①添付文書等の記載内容を的確に理解していること ● ②医薬品を購入・使用する人の生活状況に応じ、記載されている内容から必要な情報を絞り込むこと ● ③効果的かつ効率的に説明すること
問 104	使用上の注意の①3つの項目とは？ ②記載順番は？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①3つの項目とは、(1)「してはいけないこと」、(2)「相談すること」、(3)「その他の注意」 ● ②決められているのではなく、適正使用のために重要と考えられる項目が前段に記載されている
問 104	使用上の注意の「してはいけないこと」に記載されている2つの事項は何か？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①守らないと症状が悪化する事項 ● ②副作用又は事故等が起こりやすくなる事項
問 104	一般用検査薬を使用して「陽性」だった場合の指導は？	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般用検査薬での「陽性」の場合は、その検査結果のみで確定診断までできないので、速やかに医師の診断を受けることを伝える。
問 104	服用後に副作用と考えられる症状等が生じた場合について、①どうするか？ ②どこに記載されているか？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①その医薬品を使用したあとに、副作用と考えられる症状等が生じた場合、いったん使用を中止した上で適切な対応が円滑に図ること ● 「相談すること」に記載がなされている

問題 No.	質問	回答
問 4	生物由来製品は①誰が、②どのように指定するか？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①厚生労働大臣が指定する ● ②保健衛生上特別の注意を要するものとして、薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定する
問 4	生物由来製品の指定に際して、着目しているリスクは何か？	<ul style="list-style-type: none"> ● 生物由来製品は、製品の使用による感染症の発生リスクに着目して指定されている

問 4	生物由来の原材料が用いられている場合の取り扱いとは？	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の科学的知見において、<u>感染症の発生リスクの蓋然(がいぜん)性が極めて低いもの</u>については、指定の対象とならない ● 一般用医薬品又は要指導医薬品においても、生物由来の原材料が用いられているものがあるが、現在のところ、生物由来製品として指定された一般用医薬品又は要指導医薬品はない
-----	----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問題 No.	質問	回答
問 24	免疫とアレルギー反応との違いは何か？	● 免疫は、本来、細菌やウイルスなどが人体に取り込まれたとき、人体を防御するために生じる反応であるが、免疫機構が過敏に反応して、好ましくない症状を引き起こされたのが、アレルギーである。
問 24	アレルギー症状とは①何か？ ②具体的な4つとは？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①アレルギーが、体の各部位に生じる炎症をアレルギー症状という ● ②具体的な4つの症状——(1)流涙や眼の痒み等の結膜炎症状、(2)鼻汁やくしゃみ等の鼻炎症状、(3)蕁麻疹や湿疹、かぶれ等の皮膚症状、(4)血管性浮腫のようなやや広い範囲にわたる腫れの症状
問 24	アレルギーを引き起こす原因物質(アレルゲン)にはどのようなものがあるか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 医薬品の有効成分——成分そのものと、鶏卵や牛乳等を原材料に使用している場合は、卵アレルギーに配慮する ● 基本的に薬理作用がない添加物——黄色4号(タートラジン)、カゼイン、亜硫酸塩が知られている
問 24	アレルギーと体質的・遺伝的な要素に関する留意点は何か	<ul style="list-style-type: none"> ● ①アレルギーを起こしやすい体質の人や、近い親族にアレルギー体質の人がいる場合には、注意が必要 ● ②普段は医薬品にアレルギーを起こしたことがない人でも、病气等に対する抵抗力が低下している状態などの場合には、医薬品がアレルゲンになることがあり、思わぬアレルギーを生じることがあるので、過去のアレルギー歴だけでは安心できない。
問 24	副作用への対応で基本的な留意点は何か？	● 医薬品を使用する人が副作用をその初期段階で認識することにより、副作用の種類に応じて速やかに適切に処置し、又は対応し、重篤化の回避が図られるので、販売時に分かりやすく説明することが重要。

問題 No.	質問	回答
問 44	呼吸器を構成する6つとは何か？	● 鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺
問 44	呼吸器の役割は何か？	● 呼吸器は常時外気と接触する器官であり、防御機構によって、様々な異物、病原物質の侵入から守る働きを担っている
問 44	鼻汁の主要な3つの役割は何か？	<ul style="list-style-type: none"> ● ①鼻汁は、通常は常に少しずつ分泌され、鼻から吸った空気に湿り気を与え、粘膜を保護している。 ● ②かぜやアレルギーの時は、防御反応として大量に鼻汁が分泌される。 ● ③鼻汁にはリゾチームが含まれ、気道の防御機構の一つとなっている。
問 44	咽頭の後壁にある扁桃(へんとう)の役割は何か？	● 扁桃はリンパ組織(白血球の一種であるリンパ球が密集する組織)で、気道に侵入してくる細菌、ウイルス等に対する免疫反応が行われる。

問 44	喉頭と気管、気管支の線毛上皮で覆われた粘膜の役割は何か？	● 気道粘膜から分泌される粘液で、吸い込まれた粉塵、細菌等の異物をからめ取り、線毛運動で気道内部から咽頭へ向けて排出され、唾液とともに嚥下する。
問 44	肺の呼吸運動はどのように行われているのか？	● 肺自体には肺を動かす筋組織がないため、自力で膨らんだり縮んだりするのではなく、横隔膜や肋間筋によって拡張・収縮して呼吸運動が行われている。
問 44	気管支の末端でブドウの房のような肺胞の役割は何か？	● 肺胞の壁を介して、心臓から送られた血液から二酸化炭素を肺胞気中に拡散させ、代わりに酸素が血液中の赤血球に取り込むガス交換の役割を担う。

問題 No.	質問	回答
問 45	循環器系の役割とは何か？	● 血液やリンパ液を体内に循環させ、酸素、栄養分等を全身の組織へ送り、老廃物を排泄器官へ運ぶ役割を担っている
問 45	心臓の動きである拍動(はくどう)とは？	● 心臓の右心房、右心室は、全身から集まってきた血液を肺へ送り出し、肺でのガス交換が行われた血液は、心臓の左心房、左心室に入り、そこから全身に送り出される。 ● 「心臓の右から肺へ、左から全身に」に血液を送り出す。
問 45	血管は自律神経によってどのように制御されているのか？	● 自律神経によって、血管壁を収縮させることで血管は細くなり、弛緩(しかん)させることで拡張する。
問 45	血圧とは何か？	● 血圧とは、動脈の血管壁にかかる圧力である ● 通常は、上腕部の動脈で測定される。
問 45	過剰なコレステロールによる影響は何か？	● 血漿(けっしょう)中の過剰なコレステロールが血管の内壁に蓄積し、血液が流れにくくなるとともに、動脈ではその弾力性が損ない、高血圧症などの要因となる。
問 45	静脈の特徴は何か？	● 静脈にかかる圧力は比較的低いため、血管壁は動脈よりも薄い。 ● 四肢を通る静脈では血流が重力の影響を受けやすいため、一定の間隔おいて静脈弁が血液の逆流を防いでいる。
問 45	毛細血管とは、①どのような血管か？ ②その役割は何か？	● ①毛細血管は、動脈と静脈の間をつなぐように体中の組織に細かく張り巡らされている細い血管である。 ● ②毛細血管の薄い血管壁を通して、酸素と栄養分が血液中から組織へ運び込まれ、それと交換に二酸化炭素や老廃物が組織から血液中へ取り込まれる。
問 45	消化管にあるアルコールや毒素などの生体に悪影響を及ぼすものはどう処理するのか？	● 消化管壁を通っている毛細血管で吸収され、門脈と呼ばれる血管に集まって肝臓に入り、代謝や解毒される。